



液体ミルクの備蓄 ～大規模災害への対策の充実～

大府市では、災害時に乳児の栄養状態を守り、その親の負担軽減のために乳児用液体ミルクの備蓄を始めました。

近年、日本のどこかで地震や台風による災害が毎年のように起きています。大規模災害時には、ライフラインや物流が止まってしまうことが想定され、清潔な水を手に入れることや、仮に水が入手できてもその水を加熱することが困難になることが想定されます。そのような時には、常温で保存ができ、粉ミルクのようにお水で溶かす必要がない液体ミルクが役に立ちます。

また、賞味期限が近づいた液体ミルクは乳児がいる親へ、乳児用の備蓄が必要であることを啓発するために活用していきます。

■備蓄する液体ミルクの概要

容 量／240ml

数 量／24本入り 21箱

購入方法／令和2年5月、同年9月、令和3年1月の3回に分けて購入

備蓄場所／一屋町にある大府市中央防災倉庫に備蓄

使用方法／災害時に必要に応じて避難所等で使用

【問い合わせ先】

大府市 危機管理課

担 当：浅田 剛至（アサダ タケシ）

電 話：0562-45-6320

F A X：0562-47-7320

E-mail：kikikanri@city.obu.lg.jp